

新年の定番ニューイヤーコンサートが3年ぶりに来日決定!!

ウィンナー・ワルツ オーケストラ

NEW YEAR 2023 宮殿祝賀コンサート



<予定プログラム>

皇帝円舞曲

トリッチ・トラッチ・ポルカ

アンネン・ポルカ

春の声

「こうもり」より序曲

美しく青きドナウ ほか

新年の幕開けは幸せを呼ぶウィンナー・ワルツ!
胸躍るシュトラウスの音楽で甦る
きらびやかなウィーン舞踏会の世界

<出演>

サンドロ・クトゥレーロ (指揮)

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

ダンサー4名、ソプラノ歌手1名

2023年 **1/8** (日) 13:00開演 (12:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 ¥6,800 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 (税込)

お問合せ 中京テレビクリエイション ※未就学児入場不可

☎052-588-4477 <https://cte.jp/>

主催: CHUKYO TV

一般発売 2022年9月30日(金)11:00~

◎チケットぴあ: <https://t.pia.jp/> (Pコード:226-510)

052-308-8282 (平日11:00~17:00)

◎ローソンチケット: <https://l-tike.com/> (Lコード:41786)

◎e+ (イープラス): <https://eplus.jp/>

◎名鉄ホールチケットセンター: <https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>
052-561-7755

◎愛知芸術文化センタープレイガイド:052-972-0430

◎セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート店頭

音楽の都ウィーン伝統の華やかな舞踏会の雰囲気そのままに、 シュトラウスの軽快な音楽を一緒に楽しみましょう！

大晦日、時計の針が10時を指したウィーン・ホーフブルグ宮殿。「ル・グラン・バル(大舞踏会)」の始まりだ！この舞踏会を皮切りに、年明けから3月初旬までウィーン市内で開かれる数々の舞踏会。外は厳しい寒さだが、宮殿の中は暖かい空気と和やかな笑顔、笑顔、また笑顔。

そして舞踏会と言えばドレスコード。男性は燕尾服やタキシード、女性は華やかなボールガウン(舞踏会用ドレスやロング・イブニングドレス)に身を包み、煌びやかに着飾る。ウィーンの名だたる舞踏会はこれが決まりだ。流れる音楽はもちろん、ヨハン・シュトラウス2世をはじめとしたウィンナー・ワルツやポルカ、カドリユ、行進曲。ちよっぴり堅い格式の中にも、新しい年を迎えた喜びにあふれる。

今年もウィンナー・ワルツ・オーケストラがそんなウィーンの新年の香りと喜びを携えて、2023年のニューイヤーにやって来る。22年目を迎

たこの公演は、もはや「お正月の風物詩」と言っても過言ではないだろう。

ウィーンで活動を続けるこのオーケストラを率いてくるのは名物指揮者のサンドロ・クトゥレーロ。お客様を楽しませることが大好きなエンターティナーだが、聴かせる音楽に妥協はしない。シュトラウス一家の音楽とウィーンを代表する名曲を軽快で鮮やかに響かせる。そして曲に合わせて踊る4人のダンサー達。曲ごとに衣装を変え、ワルツでは優雅に舞い、ポルカではリズムカルにステップを踏み、多様な演出で会場を魅了する。もちろんソプラノ歌手の美しい歌声も聴きどころ。気品がありながらもチャーミングに歌うのはやはりこのニューイヤーコンサートならではの。そして最後を締めくくるとはお決まりの「ラデツキー行進曲」！新年の幕開けにぴったりの見て楽しい、聴いて楽しい最高にハッピーなコンサート。手拍子をしながら皆で盛り上がりましょう！



サンドロ・クトゥレーロ (指揮者)



1961年、イタリアのトロペアに生まれる。1980年、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院においてセルジオ・ペルティカローリにピアノを師事。その後、ローマ・トル・ヴェルガータ大学で政治哲学を専攻し、優秀な成績で博士号を取得。1985年よりウィーンに移り、ピアニスト、作曲家および指揮者として更なる研鑽を積む。1990年、「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」を設立。1994年にコンツェルトハウス、1997年には楽友協会ホールなど、ウィーンの有名なコンサートホールにおいて数多くのコンサートを行った。1996年、イタリアでベネチア室内管弦楽団を設立。ヴィヴァルディの「四季」などバロック作品の演奏を得意とするこの

オーケストラは、ベネチアで大きな成功を収めた。1997年にはブラハ・モーツァルト・オーケストラを設立。これら3つのオーケストラは、中国の南寧国際フェスティバル、韓国のソウル・アーツ・センター、東京のオペラシティや日本の有名なコンサートホールで公演を行い、好評を博している。

ソリストおよび指揮者として、W.A.モーツァルト、J.シュトラウス、A.ヴィヴァルディの作品を数多く録音、ピアニスト兼指揮者として精力的に活動している。

さらに哲学と文学の分野でも才能を発揮し、彼の詩集は評論家などからも絶賛されている。

ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、日本でもすっかりお馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に設立された。クトゥレーロの「ワルツへの愛と情熱」に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。ウィンナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形で観客の皆様にお届けすることを目指している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によってバレエ・ダンサー、歌手が登場し、楽しい踊りと美しい歌声が会場を盛り上げ、ウィンナー・ワルツをより楽しませてくれる工夫がなされている。

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィーンの優れたシュトラウス・アンサンブルの一つに数えられ、観客の多くがウィーン情緒たっぷりのこの公演を楽しみにしている。多彩な演出も楽しみのひとつであり、過去21回の来日公演も大好評を博した。

【ダンサー4名、ソプラノ歌手1名出演予定】

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2022年7月現在の予定です。諸般の事情により、出演者、公演内容は変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外の子供の払い戻しはいたしません。チケットご購入の際には、ご自身の体調や環境をふまえて判断くださいますようお願いいたします。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録音、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます。■ご来場の際はマスクの着用が必須となります。館内では常時マスクの着用をお願いいたします。■37.5℃以上の発熱や体調不良など、新型コロナウイルス諸症状がある場合はご入場いただけません。■本公演は政府及び自治体の方針をふまえて細心の注意を払い開催いたします。最新の情報については、光臨社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入の際は、随時確認いただきますようお願いいたします。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。